

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(小学校用)

都道府県名	大分県
-------	-----

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	大分県日田市立 光岡小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	3	3	3	3	3	3	1	19	38
児童数	88	89	106	101	101	99	5	589	

研究の概要

1. 研究主題

子ども一人ひとりが確かな学力を身につける教科指導をめざして ~教科の特性を生かした学習指導のあり方~

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

1~6年:国語 算数 3~6年:社会 理科 国語(1~6年):授業中の児童の実態,学力検査の結果から,どの学年も読みの力の不足が明らかであり,他教科への影響も懸念されるため。 社会(3~6年):学力検査を見る限りはどの領域・観点も標準程度であるが,毎日の授業の中で資料を読みとる力が不足していることが明らかであるため。 算数(1~6年):学力検査を見る限りは特に問題点は見あたらないが,難しい問題になると解けないなどの実態が見られることから「数学的な概念」の不足が指摘され,さらに研究・指導を深めていく必要があるため。 理科(3~6年):学力検査を見る限りはどの領域・観点も標準程度であるが,毎日の授業の中で根拠のある予想ができないなどの実態が指摘され,科学的な思考力が不足していることが明らかであるため。

(2) 年次ごとの計画

平成14年度	本校が学力フロンティアスクールの指定を受けたのは平成15年度からであるが,今年度の取り組みはそれ以前からの取り組みも大きく関わっている。 13年度:算数科TTの指導方法についての研究を行い,副担任による算数専科および担任による補助指導,高学年学級担任の相互乗り入れによる教科担任制が出来上がる。 14年度:算数指導に重点を置き,指導形態,単元構成についての研究を進める。教科担任制は国語・社会・理科で行う形が出来上がる。
--------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

平成15年度	テーマ 子ども一人ひとりが確かな学力を身につける教科指導をめざして ~教科の特性を生かした学習指導のあり方~ 研究の見通し TT体制の上で,四教科に別れて主題達成の研究に取り組むことにより,子ども一人ひとりに確かな学力を身に付けさせる。 研究の内容・方法 《四教科並行研究》 ・国語科研究部会 研究主題 子ども一人ひとりが,確かな読みの力を身につけるための指導は,どうあればよいか
--------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

- ・社会科研究部会
研究主題 子ども一人ひとりが資料を読みとる力を身につける，社会科指導をめざして
 - ・算数科研究部会
研究主題 一人ひとりの子どもの考える力と確かな学力を保障する算数科の指導
 - ・理科研究部会
研究主題 一人ひとりの子どもが根拠にもとづいた予想を立て，主体的に解決していく理科学習
- 子どもの実態を見据えた上で，確かな学力に結びつけるために身につけさせなければならない力を焦点化して取り組む。また，教科担任制の良さを生かし，研究の成果を反映させた各学年縦につながる指導（指導内容・指導方法）を行う。

平成16年度

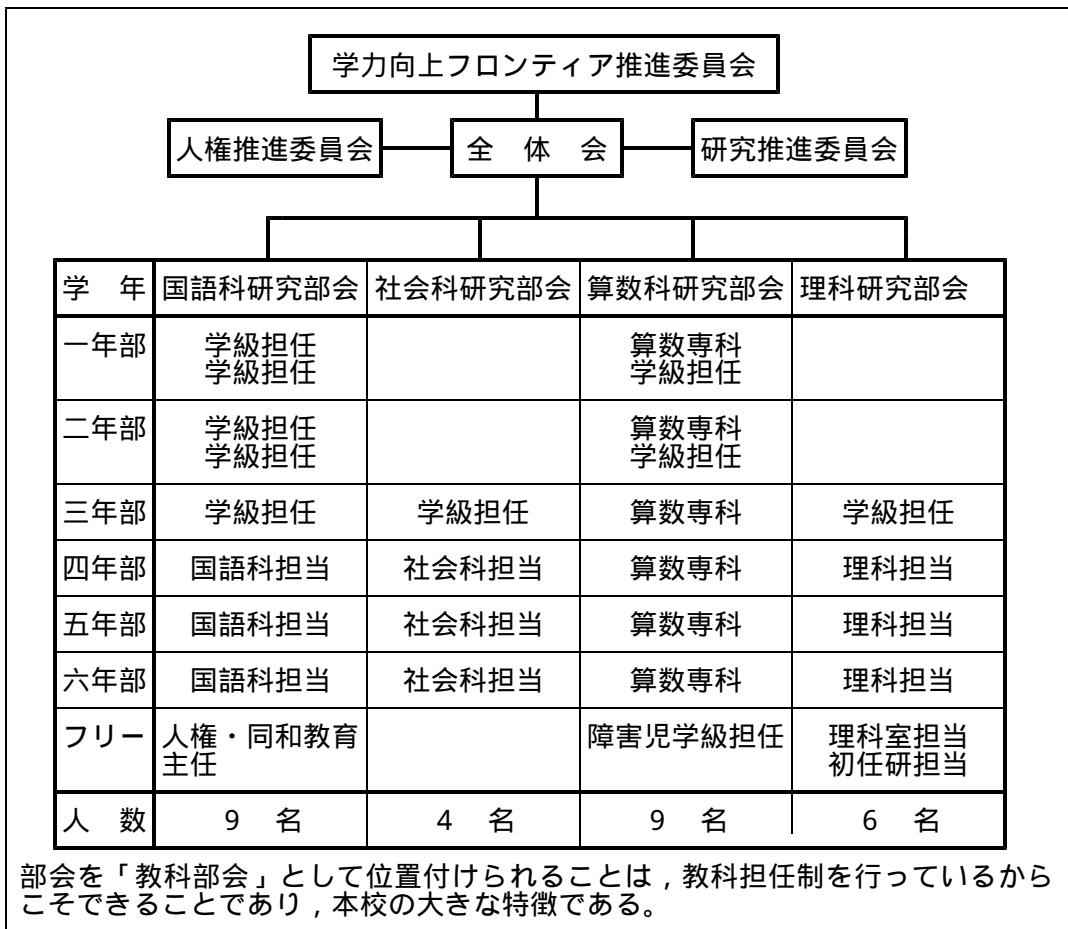
テーマ
子ども一人ひとりが確かな学力を身につける教科指導をめざして
～教科の特性を生かした学習指導のあり方～

研究の見通し
T T体制の上で，四教科に別れて主題達成の研究に取り組むことにより，子ども一人ひとりに確かな学力を身に付けさせる。

研究の内容・方法

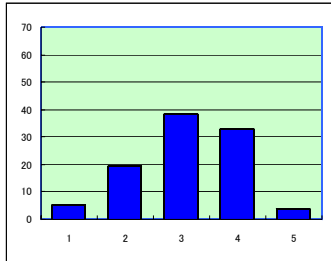
《四教科並行研究》

(3) 研究推進体制

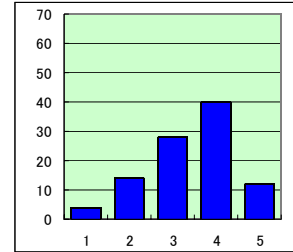


平成15年度の研究成果及び今後の課題
1. 研究成果

平成14年度 標準学力検査
国語 全学年

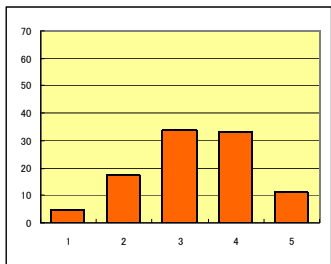


平成15年度
国語 全学年



参考資料
5年生11月実施
未実施
一・二・六年 三月実施予定
三・四・五年 四月実施予定

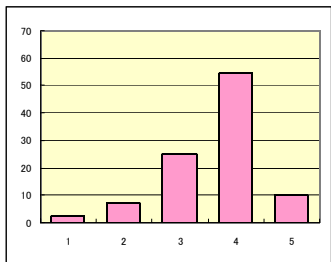
社会 三～六年



社会 三～六年

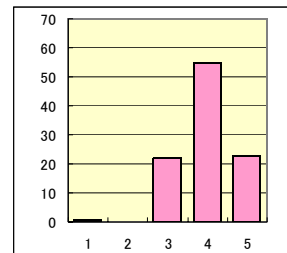
未実施
三月実施予定

算数 全学年

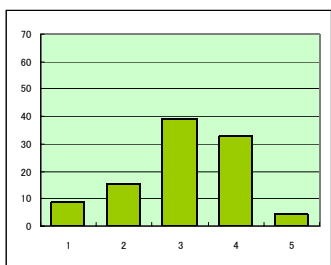


算数 全学年

参考資料
5年生11月実施
未実施
一・二・六年 三月実施予定
三・四・五年 四月実施予定



理科 三～六年



理科 三～六年

未実施
三月実施予定

今年度において、学力検査は未実施のため、客観的資料としての昨年度との比較ということとはできない。

しかし、教科部会を設置したことにより、全員が必ず一回は提案授業をしたことや、教科担任がこれまでは個人研で行っていたことを教科部会の中で深めながら研究を行ったことなどから、教師自身の授業の力が高まったことは明らかである。このことは、子どもたちに深く考えられた授業を提供することにつながっており、学力検査は未実施ながらも、各部会とも授業中の子どもの変容から、研究主題の達成に向けて確かな手応えを感じているところである。

2. 今後の課題

今年度の研究の中で、算数科においてT T体制をさらに深めていく必要性が出てきている。四部会並行研究という形は変えないものの、来年度は算数指導にやや重点を置く必要がある。
 学力検査は未実施であるが、各部会とも検査の結果が出次第、詳細に分析を行い、今後の方策を練る必要がある。

学力等把握のための学校としての取組

学力検査：子どもの実態を客観的に把握し、それに対する効果的な指導を行うため

昨年度三月	1～6年	国語・算数	学力検査実施
	3～6年	社会・理科	学力検査実施
今年度三月	1・2・6年	国語・算数	学力検査実施予定
	3～6年	社会・理科	学力検査実施予定
来年度四月	3～5年	国語・算数	学力検査実施予定

レディネステスト：単元指導に入る前に子どもの実態を把握し、必要に応じて単元前の補充の指導を行うため

単元指導前	全学年	国語・社会・算数・理科(必要ならば其他教科)
-------	-----	------------------------

単元テスト：単元指導終了後の子どもの実態を把握し、必要に応じて単元終了後の補充の指導を行うため

単元指導前	全学年	国語・社会・算数・理科(必要ならば其他教科)
-------	-----	------------------------

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

平成16年1月30日(金)
 本校T T体制に関する研究発表会
 内容 光岡小学校のティームティーチングシステムについて
 ～教育力向上をめざすT Tシステムの構築とその運用～
 118名参加 研究紀要一冊作成(T Tおよび研究全般)

平成16年2月6日(金)
 本校校内研究に関する研究発表会
 内容 算数二人体制と教科担任制を連動させた四教科研究について
 148名参加 研究紀要5冊作成(T Tおよび研究全般・国語・社会・算数・理科)

研究視察受け入れ
 教育雑誌取材受け入れ

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】 ■ 15年度からの新規校 □ 14年度からの継続校
- 【学校規模】
- | | |
|-----------|-----------|
| □ 6学級以下 | □ 7～12学級 |
| □ 13～18学級 | ■ 19～24学級 |
| □ 25学級以上 | |
- 【指導体制】
- | | |
|-----------|------------|
| ■ 少人数指導 | ■ T・Tによる指導 |
| ■ 一部教科担任制 | □ その他 |
- 【研究教科】
- | | | | |
|------|-------|--------|------|
| ■ 国語 | ■ 社会 | ■ 算数 | ■ 理科 |
| □ 生活 | □ 音楽 | □ 図画工作 | □ 家庭 |
| □ 体育 | □ その他 | | |
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 ■ 有 □ 無